

第10回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール

特賞

小論文部門

買い物をするときの判断基準

～小学校2年生の授業実践と分析～

京都府・京都教育大学附属桃山小学校 教諭 池田 恭浩

知るぽると
www.shiruporuto.jp

© 金融広報中央委員会 2013

1. はじめに

「お金」あるいは「金融」「経済」について学ぶことの必要性があることは、誰もが感じるところである。しかし、具体的に「お金」あるいは「金融」「経済」についてどのようなことをどんなふうに学ぶのかを考えることは容易なことではない。しかも、小学校の低学年ともなればさらに難しくなる。

そこで、小学校低学年の児童が「お金」あるいは「金融」「経済」についてどのように関わっているのかを調査し、その結果を分析することで、これから小学校低学年の児童が「お金」あるいは「金融」「経済」について具体的にどのようなことをどんなふうに学ぶのかを考えるための材料になるのではないかと考えた。今回は、小学校低学年の児童にとって「お金」あるいは「金融」「経済」とのつながりにおいて身近なもののひとつである「買い物」を取り上げて、小学校2年生の児童がどのような判断基準をもって買い物をするのかを調査し、その結果を分析することにした。

2. 授業の構想

今回の授業は、生活科の内容「(3) 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」¹⁾に基づくものである。いわゆる「まちたんけん」から、実際に自分の昼食を買いに行き、食べる活動に発展をさせていく。もちろん生活科なので、具体的な活動や体験を重視しており、今回は自分のお昼ご飯を買う、つまり「買い物」をする活動を中心にしている。「買い物」をする活動には実に様々な要素が含まれている。まずは、何をかうか判断をすることである。その判断をする時の基準には、値段、見た目、量、栄養、好みなど様々なものがある。そして、金額の計算である。所持している金額で買うことができるかどうかを計算する必要がある。さらに、お店の中でのルールやマナーを守ることである。お店は多くの人々が利用する場所であるので、そこでのルールやマナーを守るとは社会生活を送るうえでとても大切なことである。このことについては、生活科の内容「(4) 公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。」²⁾に関わっている。このような様々な要素について「買い物」をする活動を通じて学習することができる。そして今回はこれらの要素に付け加えて、この時に買った昼食と普段の給食の「栄養」や「値段」を比較したり、食べ終わった後に出た「ゴミ」の量の確認をしたりする。

【授業計画】

単元名「まちをたんけん 大はっけん」

小単元	時	学習活動	評価の重点
まちたんけんをしよう！	1	・学校周辺にあるものを思い起こし、まちたんけんの計画を立てる。	【関】学校周辺にどのようなものがあるか、進んで話していたか。
	2	・まちたんけんをして、気付いたことを友達と話し合う。	【思】まちたんけんをして、気付いたことを友達に伝えることができたか。
	3		
お昼ごはんを買いおう！	4	・買い物の計画を立てる。	【思】自分なりに買い物の計画を立てることができたか。
	5	・買い物をする。	【思】ルールやマナーを守って買い物をすることができたか。
	6 7	・買い物をして気付いたことを友達と話し合う。	【気】買い物をして気付いたことを友達と話し合っ、買い物をするときにはいろいろなこと(判断基準、栄養、ゴミ)を考える必要があることに気付くことができたか。

3. 授業実践と分析

上記の授業計画をもとに、2年1組と2年2組の2クラスで授業を実践した。

第1時では、まず「学校の周りには何がありますか」と尋ねた。すると児童からはたくさんの意見が出た。そして、出された意見が本当かどうかをみんなで確かめるために、第2時ではクラスごとに「まちたんけん」に出掛けた。全体で30分足らずの「まちたんけん」ではあったが、全員が興味深くまちの様子を観察していた。そして、第3時では「まちたんけん」の振り返りをした。それぞれのクラスで「まちたんけん」をして発見したものを出し合った。そして、それぞれのクラスで共通していたのが、多くの児童が販売店（お店）を見つけていたことである。もちろん販売店が比較的多い通りを歩いたこともあるが、やはり2年生の児童にとって販売店（お店）が目につくものであるということである。そこで「お店は何ををするところ？」と尋ねると、「ものや食べものを買うところ」「売っているところ」「買いに行くところ」といった答えが返ってきた。そして「みんなは、買いものをしたことがありますか？」と尋ねると、勢いよく全員が手を挙げた。この後「買いものするときに、どんなことを考えていますか？」と尋ねると、以下のような答えが返ってきた。

<2年1組>

- ・計算（ねだん）⇒お金（足りるかなあ）
- ・何を買うのかなあ
- ・なぜ買うの？
- ・おつかいの時⇒どれだけ食べる？えいよう
- ・のどがかわくなあ
- ・ほしいもの
- ・おいしそう
- ・これもほしいなあ
- ・時間（トイレ）
- ・早く食べたい
- ・やさいを食べないのかなあ
- ・どこにあるのかなあ

<2年2組>

- ・やさい⇒「むのうやく」かどうか
- ・どこでつくっているか
- ・何を買おうかなあ
- ・わくわくする⇒早く見たい
- ・早く食べたい
- ・おいしそう
- ・しょうみきげん
- ・ねだん
- ・かわいいなあ
- ・何を買うのか（おつかい）

この時に特徴的だったのが、ほとんどの児童が家族と一緒に買い物をしている時のことを答えていたことである。つまり、1人で買い物をした経験が少ないか全くない児童がほとんどだということである。また、友達の意見を聞いて「そんなことまで考えたことがない。」や「どれも大切だけど、こんなにたくさん考えられない。」という意見も出たので、買い物についてさらに学習をすることになった。

第4時では、さらに買い物について学習を進めるために5日後にお昼ご飯を学校の近くのスーパーへ買いに行くことを告げた。すると、児童全員が大喜びをした。そして、この時間には買い物の計画を立てることを主な目的としていたが、その前に「お店の中では、どんなことに気をつければいいのか？」という発問をして、お店の中でのルールやマナーについて全員で確認をした。その後、いよいよ買い物の計画を立てることになり、その時に次頁の事項を児童に示した。

これらの事項は、児童にとっての買い物をするときの「条件」である。もちろん、どこまでの条件にするかは非常に悩んだ。なぜなら、あまりに条件が厳しすぎれば児童の選択の幅が狭められ、この授業の大きな目的である様々な「判断基準」を活かして児童が買い物をすることができなくなる。逆に条件がなければ結果の分析が非常に困難になるからである。そして、自分で計画を立てた後にお家の人と一緒に計画を立てることにした（資料1）。お家の人と一緒に計画を立てる主なねらいは、お家の人の考えと自分の考えの共通点や相違点に気付くことができるようにすることと、買い物をするためのお金はお家の人からもらっていることを意識できるようにすることである。お家の人には事前に授業の趣旨を説明し、児童があまり考えることができないう予想された「栄養」についてのアドバイスをもらうように依頼しておいた。また、レシートについては証明書としての重要性があることを説明して、大切に保管することを伝えた。

☆よく読みましょう！

- ・お昼ごはんを買うのは、3月5日（火）です。
- ・買ったお昼ごはんはきゅう食の時間に食べます。（おはしとナプキンをもってきます）
- ・お昼ごはんを買う場所は「〇〇〇〇〇〇〇」（スーパー）です。

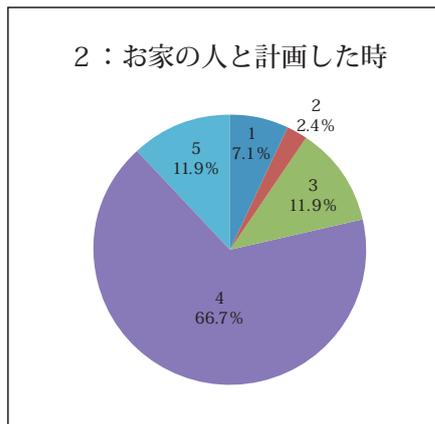
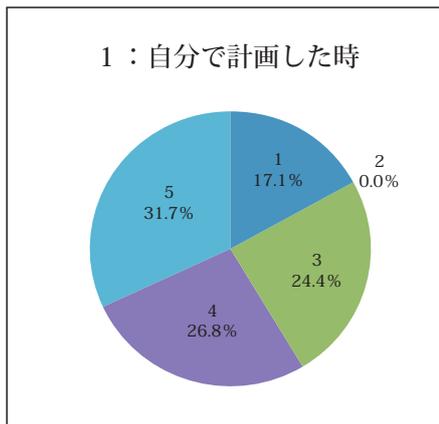
- ・お金は500円までつかってもいいです。
- ・お昼ごはんを買う日は、500円（できれば500円玉）をもって来る。
- ・のみものは買ってでもいいです。また、買わずに家からお茶をもってきてでもいいです。
- ・デザートは買ってでもいいです。
- ・ちょうり（作ること）はできません。
- ・おゆや電子レンジをつかわなければいけないものは買えません。
- ・レシートはかならずもって帰ってきます。

- ・お家の人といっしょに計画を立てた後に、サインをもらいましょう。
- ・計画を書いたプリントは池田先生に出しましょう。
- ・レシートはかならずお家の人に見てもらいましょう。
- ・おつりはかならずお家の人にかえしましょう。

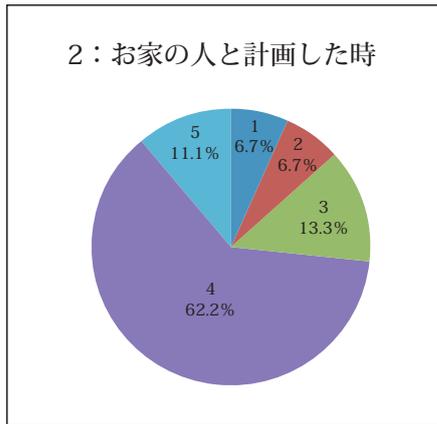
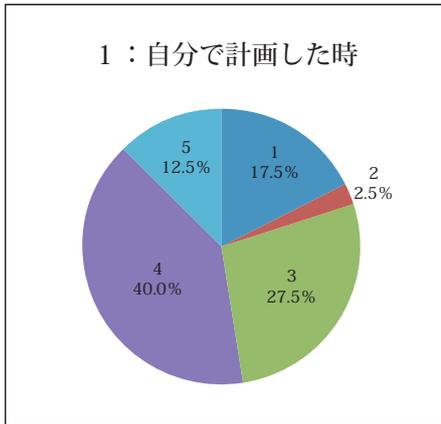
買い物の計画を立てた段階での児童の判断基準は以下ようになった。なお、今回は「判断基準」に関しては次の5つに分類した。

- 1：値段 「やすい」「あまりお金をつかいたくない」「もっているお金で買える」など
- 2：見た目 「食べやすそうだから」「きかんげんてい」「火曜日しか買えない」など
- 3：量 「たくさん入っている」「足りないと思った」「おなかがかすくから」など
- 4：栄養 「けんこうにいい」「やさいが入っている」「バランスがいい」など
- 5：好み 「おいしそう」「おいしかった」「食べたかった」「すきだから」など

<2年1組>



< 2年2組 >

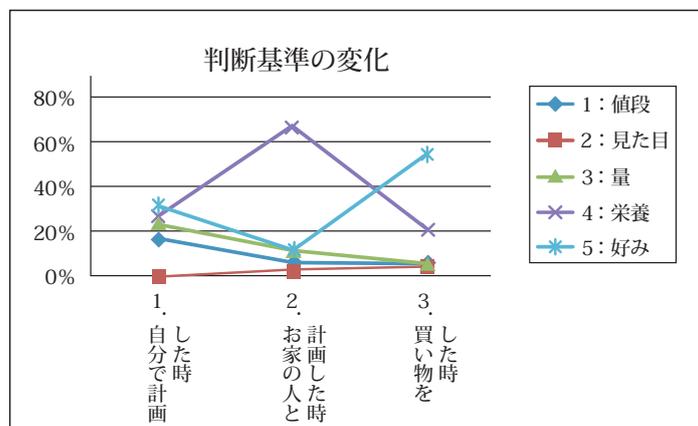
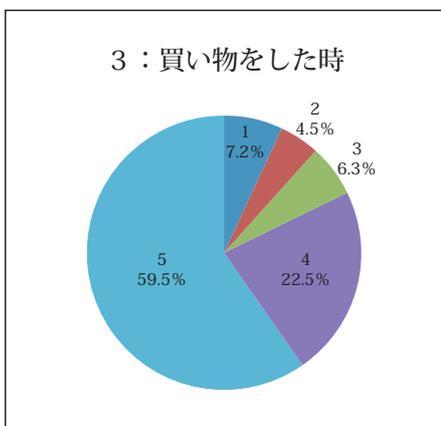


この結果を見ると、「お家の人と計画」した時に関しては、予想通りにお家の人から栄養についてのアドバイスをしてもらった分だけ「4：栄養」の割合が増えている。「自分で計画」した時に関しては、予想以上に「4：栄養」を判断基準にしていた児童が多かった。そして、全体的には「4：栄養」と「1：値段」「3：量」「5：好み」の4つを「判断基準」として児童が買い物の計画を立てていたことがわかる。ちなみに「2：見た目」が少なかったことに関しては、1人での買い物の経験が少ない児童が計画の段階でそのことを考えるに至らなかったと考えられる。

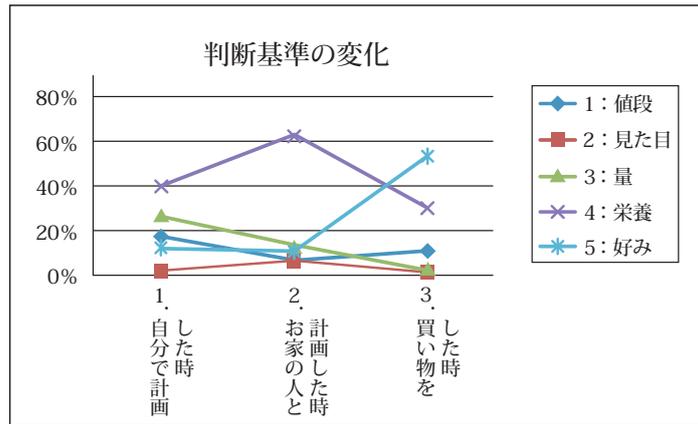
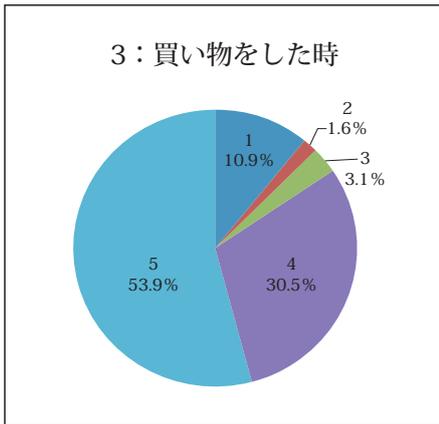
第5時はいよいよ買い物である。児童はこの日をとても楽しみにしていた。スーパーの中で児童は楽しそうに、そして真剣に買い物をしていた。児童の様子で印象に残ったのが、金額の計算に苦勞していた児童が多かったことである。これは、1人での買い物の経験の少なさと、概数で計算することがわかっていなかったためだと考えられる。中にはレジに行く前に「緊張するわ。」と言っていた児童もいた。おそらく自分の計算が合っているかどうか不安だったのであろう。また、お店でのルールやマナーに関しては事前に確認したにもかかわらず、大声でしゃべってしまったり、他のお客さんに迷惑をかけてしまったりする児童が少なからずいた。さらに、精算が終わった後に自分が使っていたカゴを自分で片づけることを忘れていたり、知らなかったりした児童もいた。このことについては、次時のはじめにクラス全体で振り返りをした時に児童からも意見が挙がっていたので、今後もこの経験を活かしてお店でのルールやマナーを改善してもらいたい。

買ってきたものは、この日の給食の時間に食べた（参考）。どの児童もとてもおいしそうに食べていた。しかし、中には「買いすぎた。」と言っていた児童も少なくはなかった。そして、食べ終わった後に買い物の振り返りをプリント（資料2）に記入した。記入をした項目は「何を買いましたか?」「お昼ごはんを買うときに考えたことや気づいたことを書きましょう!」「今日はよい買い物ができましたか!」の3項目である。「今日はよい買い物ができましたか!」については、ほとんどの児童が「とてもよかった!」と答えていた。そして「何を買いましたか?」の中の「買ったやう」が買い物をした時の児童の判断基準である。結果は以下の通りになった。折れ線グラフでは、「1：自分で計画した時」「2：お家の人と計画した時」「3：買い物をした時」の「判断基準」の変化を示した。

< 2年1組 >

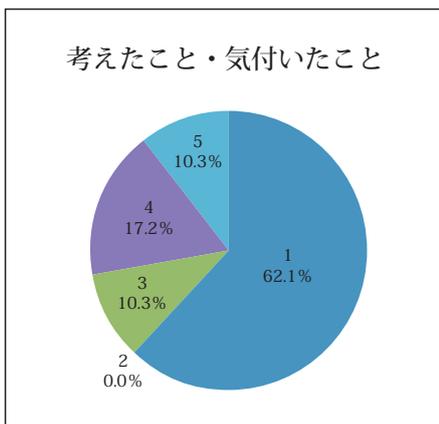


<2年2組>

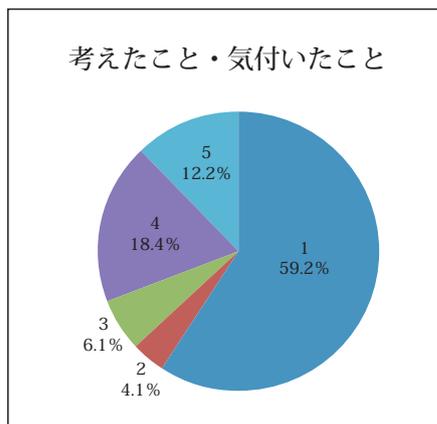


この結果を見ると、やはり最終的には多くの児童が「5：好み」を「判断基準」にしていたことがわかる。そして、お家の人との計画の段階からは減ってはいるものの「4：栄養」が「5：好み」に続いて多かった。これは、事前にお家の人からアドバイスを受けていたことと、授業としての買い物だということが影響しているのかもしれない。「3：量」に関しては、「買すぎた」と言っていた児童が少なくなかったことから「判断基準」としてあまり重視されていなかったことがわかる。そして予想外だったのが「1：値段」と「2：見た目」の割合が低かったことである。「2：見た目」に関しては、前述の通り計画の段階で割合が低かったのは仕方のないことだと考えられたが、実際に買い物をした時にも小学校2年生には「判断基準」としてあまり重視されていなかったのである。そして、「1：値段」の割合が低かった理由として考えられるのが、今回の買い物は「500円までつかってもいいです」ということが条件になっていたので、「1：値段」は買い物をするときの大前提として捉えられていたということである。つまり、大前提になっていたので「買ったりゆう」にはならなかったということである。しかし前述の通り、買い物をしている時には金額の計算に苦労していた児童が多かった。本当に児童は「1：値段」のことを考えていなかったのだろうか。そのことについては、買い物の振り返りを記入したプリントの「お昼ごはんを買うときに考えたことや気づいたことを書きましょう！」の項目を見ればわかった。

<2年1組>



<2年2組>

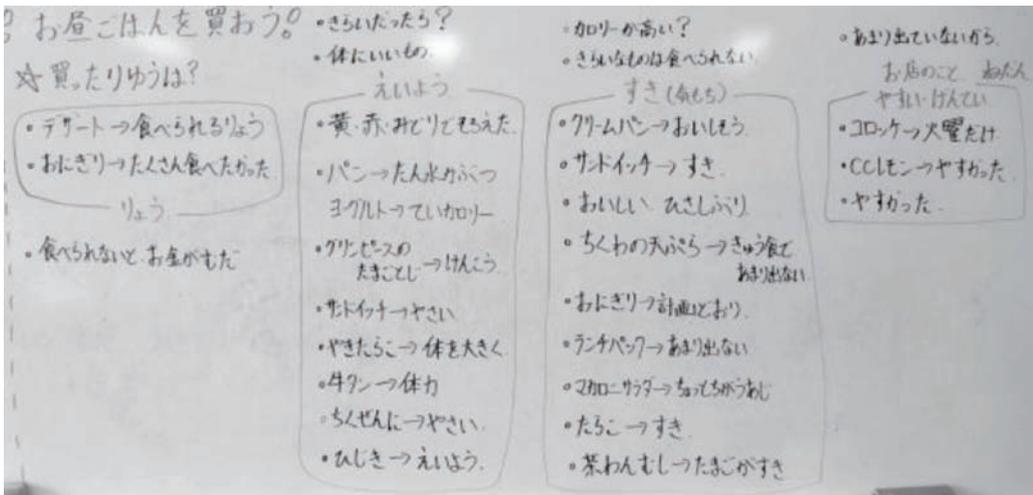


この項目で「1：値段」について書いた児童のほとんどが金額の計算が「大変だった」「難しかった」と書いていた。つまり、過半数の児童にとっては所持している金額で商品を買うことができるかどうかを計算することで精一杯であって、いわゆる「安い商品を探す」といった行動にまで至ることができなかったと考えられる。

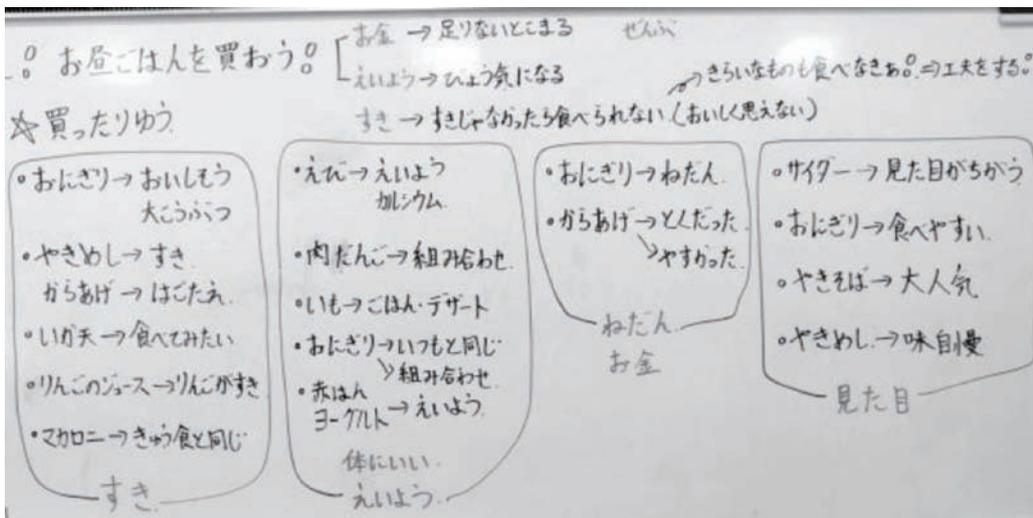
第6・7時では、クラスごとに買い物の振り返り（資料3）をした。前述の通り、授業のはじめにはお店の中でのルールやマナーの振り返りをした。そして次に、それぞれの商品を買った理由を交流した。

各クラスで交流をした時には、振り返りのプリントだけでは見えてこなかった児童の姿が見えてきた。先に授業をした2年2組では、買った理由（判断基準）を仲間分けした後に、仲間分けをした理由のうちどの理由が一番大切なのかを話し合った時に、「2：見た目」が話題の中心になった。具体的には、商品に貼ってある「大人気」や「味自慢」のラベルを見て買うことが良いことなのかどうなのかという議論である。振り返りのプリントでは「2：見た目」はわずか1.6%しか「判断基準」として記されていないにもかかわらず、ほとんどの児童がこの議論に参加していた。その証拠に、議論が深まってきたときに教師が「ラベルを見て買って良かった人は？良くなかった人は？」と尋ねた時に、ほとんどの児童が手を挙げていたのである。ちなみに結果は、「良かった」という児童の数のほうがやや多かった。つまり、児童にとって「2：見た目」は判断基準として最も重視したものではないが、「2：見た目（今回の場合はラベル）」も判断基準として採用していたということである。しかし、次に授業をした2年1組では「2：見た目」はあまり話題にならなかった。2組の時のように潜在的な判断基準として採用されていた可能性もあるので教師からも積極的に「2：見た目」について尋ねたが、これといった反応はなかった。1組では「4：栄養」が一番大切な判断基準だという意見が強かった。この授業までの児童の「判断基準」を見てみると、1組より2組の方が「4：栄養」を重視していたことから教師にとっては予想外の展開だったが、考えられることは授業の中で友達の意見を聞くことで、自分の考え方が変わってきたのかもしれない。つまり、2組では「2：見た目」、1組では「4：栄養」についての友達の意見が、多くの児童の心に響いたと考えられる。

<2年1組>



<2年2組>



4. おわりに

以上の授業実践と分析から次のことがわかった。

(1) 小学校2年生の買い物をする時の判断基準は明確ではない

小学校2年生の段階では、買い物をするときに明確な判断基準をもって買い物をしていないことが分かった。その原因として考えられるのが、1人で買い物をした体験が少ないことである。それでは、この段階の児童が「お金」あるいは「金融」「経済」についてどのようなことをどんなふうに学ばよいかであろうか。

やはりキーワードは「体験」になるだろう。具体的には、小学校低学年の児童にとって「お金」あるいは「金融」「経済」とのつながりにおいて身近なものひとつである「買い物」の体験をすることである。しかし、買い物の体験をすることは教育現場が中心となっていくことではない。それは家庭生活の中で行うことである。それでは、教育現場で行うことができることは何なのであろうか。それは買い物の「振り返りの仕方を学ぶこと」と「判断基準にはいろいろなものがあること」を学ぶことである。もちろんこれらも家庭生活の中で行ってほしいことではあるが、教育現場で行うことで児童はより多様な振り返りの仕方や判断基準を学ぶことができる。こういった小さな積み重ねが健全な金銭観を身につけることにつながると考えられる。

(2) 本物の体験が学びを深める

生活科では具体的な活動や体験を重視しているが、やはりその体験は本物に越したことはない。今回も本当に自分でお昼ご飯を買って食べるからこそ、児童は真剣に様々なことを考えて商品を選んだ。真剣に考えたからこそ、自分の考えを振り返ったり友達の意見を聞いたりしたときに学びを深めることができたのである。また、本当に自分で体験したことだから自分のこととして捉えることができた。もしも「買い物ごっこ」であれば、その学びはここまで深まらなかったであろう。もちろん「ごっこ（疑似体験）」を全面的に否定はしないが、可能な限り本物にこだわるのが児童の学びを深める上で大切になるのではないだろうか。

(3) 本当の「買い物」を教材化する上での困難

本当の「買い物」は、本物の「お金」を使う行為である。本物を使って学習することの意義は前述したとおりであるが、その反面としてリスクが伴うのも事実である。本当の「買い物」を取り上げた学習をする上でのリスクとして挙げられるのが、お金の管理と協力をしてくれるお店が学校周辺に存在するかどうかである。もちろん、使えるお金を少額にして買うものをお昼ご飯にこだわらなければこのリスクは軽減される。しかし、使えるお金を少額にして児童の選択の幅が狭まれば、果たしてその「買い物」が目の前の児童が学習するべき要素を含んだものになるのだろうか。そのあたりは教師がしっかりと見極めなければならない。

注1) 文部科学省『小学校学習指導要領解説生活編』2008 p.31

注2) 文部科学省『小学校学習指導要領解説生活編』2008 p.33

資料1 買い物の計画 (4時間目 / 7時限)

2年生 生活科

2月 28日

まちをたんけん 大はっけん! お昼ごはんを買おう!

組 番 名前 ()

○お店の中では、どんなことに気をつければいいのか?

買う時間をきめてシューズをはきめる → まいこ
前を見て歩く → 人にあたる ~~ゆっくり~~歩くと → ~~はしる~~ → 人にあたる
大きな声でさわがない さわがないふさがない

☆どんなお昼ごはんを買いますか? 自分で計画を立てましょう!!

おべんとう、デザート

◎この計画にしたりゆうを書きましょう!

おなかっぱいになれるから

★どんなお昼ごはんを買いますか? お家の人と一緒に計画を立てましょう!!

おべんとう...おさいか...はいらたもの
デザート...セツリー(みかん)

●この計画にしたりゆうを書きましょう! お家の人サイン⇒

母

おべんとう...いろんな食べものが入っていて、
体のえいようのことを考えたからです。



資料2 買い物の振り返り (5時間目 / 7時限)

2年生 生活科

3月5日

まちをたんけん 大はっけん! お昼ごはんを買おう!

組 番 名前 ()

☆何を買いましたか?

買ったもの (計画通りのものには○をつける)	ねだん	買ったりゆうを書きましょう。
おにぎり(23)	156円	おにぎりとうがまずそうた、たから
パヤリース	88円	のと"か"かわくから。
からあげ"	225円	お"か"す"か"い"るから。
ねだんの合計	469	

☆お昼ごはんを買うときに考えたことや気づいたことを書きましょう!

ねだんで500円までけるかと、でもかん
はった。
か、い、す、き、た

☆今日はよい買い物のできましたか!



それは、なぜですか?

はい、め、て、行、く、か、ら、



資料3 単元全体の振り返り (7時間目/7時限)

2年生 生活科

3月 5日

まちをたんけん 大はっけん! お昼ごはんを買おう!

組 番 名前 ()

☆ふりかえりを書きましょう!



とても楽しかった!



楽しかった



まあまあ楽しかった



楽しくなかった

それは、なぜですか?

みんなが「こんなことを考えていたんだ」と
わかったから。

☆「まちをたんけん大はっけん! お昼ごはんを買おう!」のじゅぎょうで学んだことや気づいたことなどを書きましょう!

◎お肉は、あまりたべすぎたら、
しほづになると、このしゅきょうで、
気づいた。
◎日本の小学校だけで「ゴミは、
199800こ分、
びっくりすることがよくわかって
よかったです。

参考 児童が買ったもの

金額	買ったもの
500	からあげ・オレンジジュース・だし巻・おにぎり
496	はちみつ黒酢・ランチパック×2・ヨーグルト
496	ドルチェ・焼きそば・おにぎり・天ぷら
495	CCレモン・パン×3・コロッケ
495	焼き飯・キウイ・野菜ジュース
493	サイダー・焼きプリン・焼き飯
493	サイダー・ヨーグルト・焼き飯
492	おにぎり・いか天・からあげ・マカロニサラダ
490	かつ丼・焼きプリン
490	チーズ・パン×2・竹輪・コロッケ
484	サイダー・ヨーグルト・おにぎり×2・からあげ
476	サンドイッチ・ゼリー・おにぎり
476	牛タン丼・おにぎり
476	ポカリスエット・焼き飯・いかの天ぷら
474	肉団子・おさつ・おにぎり・いもの天ぷら
472	赤飯・ヨーグルト・パン・ジュース
469	おにぎり・オレンジジュース・からあげ
467	プリン・卵の花・ひじき豆・おにぎり
461	メンチカツ・コロッケ・おにぎり・エビフライ
459	飲むヨーグルト・ひじき豆・おにぎり×2・エビフライ
459	コロッケ・たらこスパゲティ・おにぎり×2
456	焼きプリン・おにぎり・春巻き・かきあげ
454	焼き飯・おにぎり
453	飲むヨーグルト・おにぎり・からあげ
452	からあげ・おにぎり・卵の花
451	サンドイッチ・ひじき豆・おにぎり
450	飲むヨーグルト・ゼリー・筑前煮・おにぎり
446	たこ焼き・おにぎり・ちくわの天ぷら
446	たこ焼き・おにぎり・ちくわの天ぷら
446	サンドイッチ・プリン・おにぎり・いもの天ぷら
446	たこ焼・おにぎり・竹輪の天ぷら
446	やきそば・おにぎり・ヨーグルト
440	メロンパン・おさつポテト・マカロニサラダ・飲むヨーグルト
432	からあげ・焼き飯
431	ドロリッチ・からあげ・おにぎり
429	ひじき豆・肉団子・おにぎり

金額	買ったもの
428	サンドイッチ・シュークリーム・ドロリッチ
427	からあげ・焼き飯
426	焼きプリン・焼きそば・おにぎり
426	サンドイッチ・飲むヨーグルト・おにぎり
426	焼きプリン・焼きそば・おにぎり
424	ゼリー肉団子・おにぎり
424	切り干し大根・コロッケ・おにぎり・ヨーグルト
424	おにぎり・コロッケ・切り干し大根・ヨーグルト
418	パン・野菜ジュース・ヨーグルト・ごはん
414	おにぎり・だし巻・エビのてんぷら・エビフライ
414	シュークリーム・おにぎり・かきあげ・エビフライ
403	アップルジュース・ドロリッチ・赤飯
401	ヨーグルト・赤飯・マカロニサラダ
394	肉団子・おにぎり・飲むヨーグルト
383	リンゴジュース・パン・中華サラダ
376	CCレモン・抹茶プリン・金平ごぼう・おにぎり
376	飲むヨーグルト・オムレツ・おにぎり
351	おにぎり・焼きプリン・お茶
351	パン・焼きプリン・おにぎり・いもの天ぷら
351	オレンジジュース・プリン・おにぎり×2
348	焼きそば・ティラミス
348	おにぎり・かきあげ・シュークリーム・いか天
347	クリームパン・グリーンピースの玉子とじ・スパゲティサラダ
345	パン・ヨーグルト・マカロニサラダ
334	茶碗蒸し・ヨーグルト・おにぎり
328	焼きそば・CCレモン
328	サンドイッチ・飲むヨーグルト
323	おにぎり・からあげ・ヨーグルト
322	おにぎり×2・カフェオレ・ヨーグルト
322	おにぎり×2・プリン・コーヒー牛乳
317	オレンジジュース・パン・おにぎり
316	パン・ヨーグルト・おにぎり×2
308	おにぎり・オレンジジュース・からあげ
253	おにぎり×2・お茶